

#QMX #firmware 1_00_007

ハンス・サマーズ

8月2日 #106418

皆さん、こんにちは

QMX ファームウェア 1_00_007 がリリースされました 次の変更の概要を含む <http://qrp-labs.com/qmx> を参照してください。

1. キーメニュー構成「GPS 保護」を追加して、自動保護を有効にします、
2. GPS 保護の自動練習を少し妄想的にしない。
3. バグ修正: WSPR/CW/FSKCW ビーコン機能を修正
4. バグ修正: 該当する CAT Q1、Q2 などのコマンドを修正
5. モードインジケータ文字、行 1、列 12 を追加します。
6. デジモード送信ステータスインジケータ、VFO A シンボルに下線を引きます。
7. LCD /ボタンの文字列編集(メッセージ編集)を修正
8. メッセージを編集する際、メッセージが画面幅より長い場合は横スクロールします。
9. バグ修正: パワーアップで設定されている場合、練習モードインジケータが表示されません。
10. バグ修正: キーヤースワップが QCX と比較して逆になりました。
11. バグ修正: 練習モードインジケータがデジモードで表示されない。
12. バグ修正: digi で、受信オーディオではなく PTT でキャリア送信が開始されました。
13. LCD の書き込み速度を約 50 倍に向上
14. バグ修正: バッテリーインジケータを有効にすると、CW デコードが一番上の行を破損することがありました

このメールを書いている間、FT8 で 20m の運用を 9V の電源で(これは 12V QMX なので、約 2W 出力)テストしています。-私は中国 BG0CAB と日本 JG3LGD(彼らの CQ に答えるを運用しました。私はそれがうまくいくと思います;-)

細部:

1. キーメニュー構成「GPS 保護」を追加して、自動保護を有効にします
オートプラクティスモード(ディスプレイの「G」)のこの機能は、キーメニューで無効にできるようになりました。
2. GPS 保護の自動練習を少し妄想的にしないようにします

QMX がパドルポートで GPS シリアルデータストリームを受信していると判断するのに 10 倍の時間がかかります。これはまだほんの数ミリ秒です。

3. バグ修正: WSPR/CW/FSK CW ビーコン機能を修正

WSPR、CW、および FSK CW ビーコン機能(スタンドアロン WSPR エンコーディング)は、QCX-mini と同じように機能するようになりました。GPS を使用して時間と場所を設定できます。

4. バグ修正: 該当する CAT Q1、Q2 などのコマンドを修正します

明らかに、一部のプログラムが使用する Q1、Q2 などのコマンドが復活し、QDX と互換性があります(該当する場合)。

5. モードインジケータ文字、行 1、列 12 を追加します

これで、モードは常に最初の行の 12 桁目に 5 文字でディスプレイに表示されます。添付ファイルを参照してください。単一の 5 x 8 ピクセルグリッド文字に「DIGI」、CW の場合は「CW」と表示するように設計しました。また、時が来たときに設計されたピクセルパターン LSB、USB、AM などもあります。

6. デジモード送信ステータスインジケータ、VFO A シンボルに下線を引く

Digi モードの VFO シンボルの「A」に下線を引く送信ステータスインジケータもありません。このシンボルの動作は、QDX の LED に似ています。WSJT-X を例にとると、

- ・ WSJT-X が QMX を TX モードにするために CAT コマンドを送信したが、オーディオがない(おそらく間違ったサウンドカードが選択されている)。

- ・ QMX が PC からオーディオを受信しているが、音量レベルが不十分であることを意味します。3つの設定すべてが 100%である必要があります

- ー QMX が送信中であり、音声为正しく、RF を出力していることを意味します。

7. LCD / ボタンの文字列編集(メッセージ編集)を修正

QCX で行ったのと同じ方法で、QMX で CW メッセージを正しく編集できるようになりました。以前は、挿入と削除の特殊文字が正しく機能しませんでした。CW メッセージ送信は機能し、端末にメッセージを正しく入力できました。

8. メッセージを編集するとき、メッセージが画面幅より長い場合は水平スクロールします

これで、メッセージを編集するとき、表示の一番下の行が右にスクロールされ、メッセージ全体の 16 文字のウィンドウがスクロールし、編集中の文字が常に表示され、カーソルに正しく下線が引かれます。

9.バグ修正:パワーアップ時に練習モードインジケータが設定されている場合、表示されない

これで、練習モード P の記号が電源投入から正しく表示されます。

10.バグ修正:QCX と比較してキーヤースワップが逆転修正しました。

.したがって、Dit 入力と Dah 入力の QMX 解釈は QCX と一致するはずですが、QCX でキーヤースワップを有効にする必要がある場合は、QMX でも有効にします。

11. バグ修正: 練習モードインジケータがデジモードで表示されない

練習モードの P インジケータがデジモードでも表示される(そして効果的になる)ようになりました

12.バグ修正:digi で、着信オーディオではなく PTT でキャリア送信が開始されました

PTT がアクティブになると送信が開始されましたが、「USB ダイアル」周波数(オーディオオフセットゼロ)で開始されました。誰もそれに気づかなかった;-)

13.LCD の書き込み速度を約 50 倍に向上させます

LCD の書き込みのタイミングが間違っていて、非常に妄想的でした...適切な 37us LCD コマンドと書き込み待機(および画面クリアの場合は 1.5ms)を使用して、これらすべてを適切に整理しました。ですから、今は非常にうまく機能しています。これで、すべての応答性ははるかに向上し、メニューエントリなどをスキップしないようにする必要があります。

14.バグ修正:バッテリーインジケータが有効になっている場合、CW デコードが一番上の行を破損する可能性があります

バッテリーインジケータを有効にできるようになり、キーアのタイミングも破損しないと思います。

だから。。。

このスレッドで観察とバグレポートを提供してください。



ハンス・サマーズ

8月2日 #106420

PSSWR メータリングの実装で締めくくられる S メーターを価値のあるものにできるようになるまで、私は今のところ S メーターを空白にしたことを言及するのを忘れていました。したがって、これは意図的なものであり、バグではありません。私はいまうまく機能し、適切に対数である素敵な適切な S メーターを作ります。

73 ハンス G0UPL